

# 埼玉県NPO基金

Non-Profit Organization

## ニュース

平成18年度事業報告書



### CONTENTS

ごあいさつ	2
NPOとは	2
NPOの活動分野 / 県内NPO法人の認証状況	3
埼玉県NPO基金とは	4
NPO活動促進助成事業の概要	5
ステップアップ事業の実施結果	6
スタートダッシュ事業の実施結果	9
NPO協働提案推進事業の概要	12
協働提案による事業の実施結果	13
NPO運営力強化・育成支援事業	14
寄附いただいた皆様のご紹介 / 寄附状況 / 寄附者の声	15
寄附のお願い / NPOに関するお問い合わせ先	16

## ごあいさつ

私は、知事就任以来、県民の皆様の自主的、自発的な社会貢献活動である NPO 活動が、さらに活発に行われるよう、「埼玉県 NPO 基金」の創設や活動拠点の整備など、様々な施策に積極的に取り組んできました。

特に、「埼玉県 NPO 基金」については、平成 18 年 8 月に、寄附の際に支援したい団体を具体的に希望できる「団体希望寄附金制度」を都道府県で初めて設け、御寄附をいただく方の御意向をさらに尊重できる仕組みといたしました。県民の皆様の方で NPO を支えるこの基金が、より広く浸透するよう、これからも制度の充実を図ってまいります。

この「埼玉県 NPO 基金ニュース」は、基金を活用して実施した平成 18 年度の事業の成果を県民の皆様にお伝えするものです。多くの方々に、NPO の活動状況や県の NPO 施策への御理解を深めていただければ幸いです。

県民の皆様が、生き生きと NPO 活動に参加できる埼玉をつくるため、「埼玉県 NPO 基金」に皆様さらなる御支援、御協力をいただきますようお願いいたします。



埼玉県知事 上田清司

## ?NPOって何?

(Non-Profit Organization の略)

営利を目的とせず、地域の課題に対して自発的に取り組み、継続して社会貢献活動を行う民間団体のことで、一般的に「民間の非営利組織」と訳されています。

平成 10 年に NPO 法（特定非営利活動促進法）が施行されて、NPO に法人格を付与する制度ができ、NPO は、福祉、まちづくり、環境を始め、様々な分野に大きく広がっています。NPO 法でいう「社会貢献活動」とは、社会全体の利益に寄与すべく、不特定多数のものの利益の増進を図る活動のことです。

NPO もボランティアも、自主的に社会貢献活動を行うという点では同じですが、ボランティアは活動する個人、NPO はそうしたボランティアなどが集まり、継続的に活動している組織といえます。

NPO には、次のような特徴があります。

- (1) 自主性・自発性 市民が主体となって、自主的・自発的に社会貢献活動を行っています。
- (2) 多様性 社会的課題の多様性・複雑性に対応し、幅広い分野で取り組みを行っています。
- (3) 柔軟性・先駆性 地域や生活の場で発見された課題や多様なニーズに対して迅速に対応し、自由な発想で柔軟かつ機動的に対応できます。また、創造的で先駆的な取り組みを行っているところもあります。
- (4) 地域のコーディネート機能 地域の人材や資源を発掘し、人とひと、組織と組織をつなげ、それらを有機的にコーディネートして課題解決のための新たな手法を生み出します。

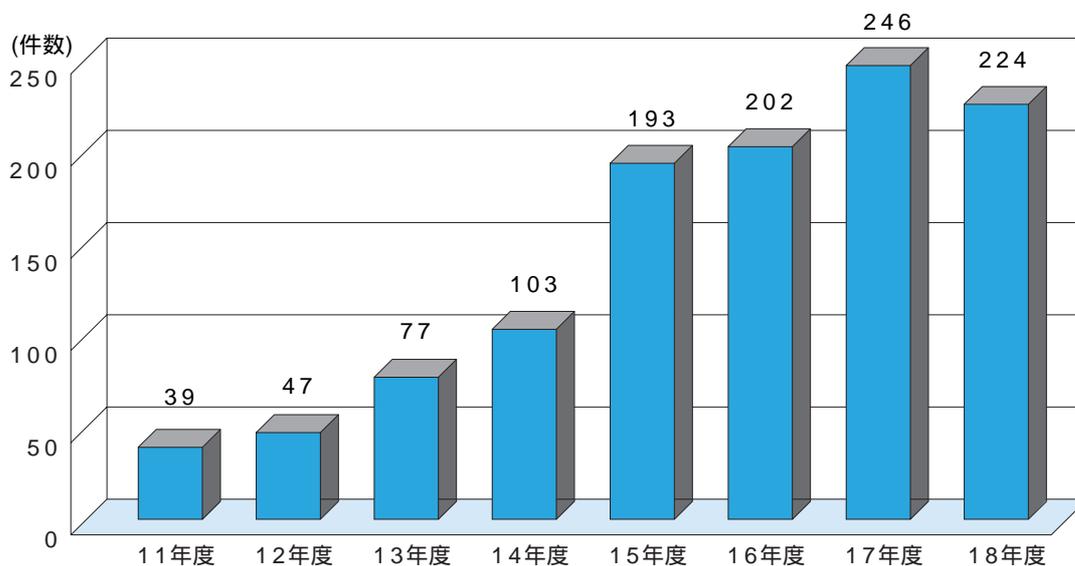
～埼玉県 NPO 活動促進基本方針（平成 19 年 3 月策定）より

## NPO法で定める17の活動分野

保健、医療又は福祉の増進を図る活動
社会教育の推進を図る活動
まちづくりの推進を図る活動
学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動
環境の保全を図る活動
災害救援活動
地域安全活動
人権の擁護又は平和の推進を図る活動
国際協力の活動
男女共同参画社会の形成の促進を図る活動
子どもの健全育成を図る活動
情報化社会の発展を図る活動
科学技術の振興を図る活動
経済活動の活性化を図る活動
職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動
消費者の保護を図る活動
前項 から に掲げる活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助の活動

## 埼玉県におけるNPO法人の認証状況

埼玉県における認証数は、1,089です。(平成19年3月31日現在)



### 埼玉県 NPO 情報ステーション

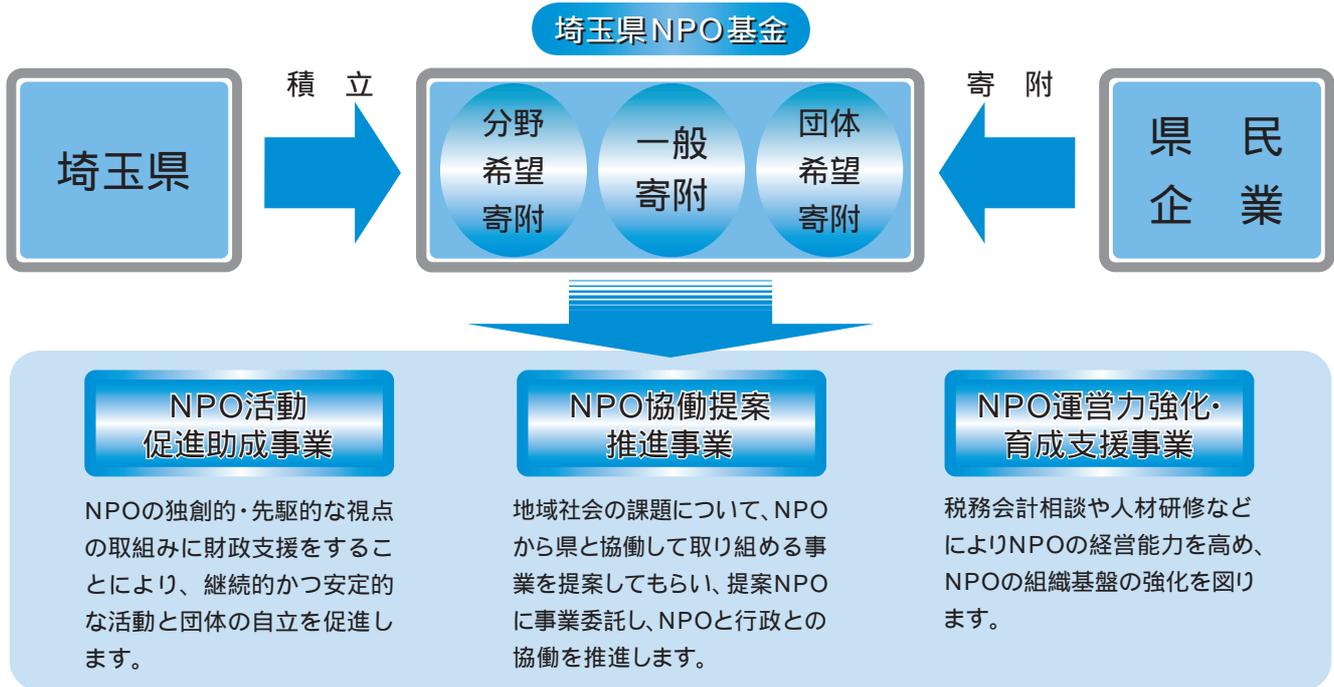
(<http://www.saitamaken-npo.net/>) で、各団体の連絡先、定款、事業報告書などを検索いただくことができます。

# 埼玉県NPO基金とは

県内 NPO の自主的・自発的社會貢献活動に対する支援を行い、その活動を促進するとともに、NPO と行政と協働を推進するための基金です（平成 16 年 4 月創設）。

## 基金の仕組み

県の積立て（1 億円）によって創設し、県民や企業・皆様からの寄附金を原資とし、NPO 活動を推進するための 3 つの事業を実施しています。

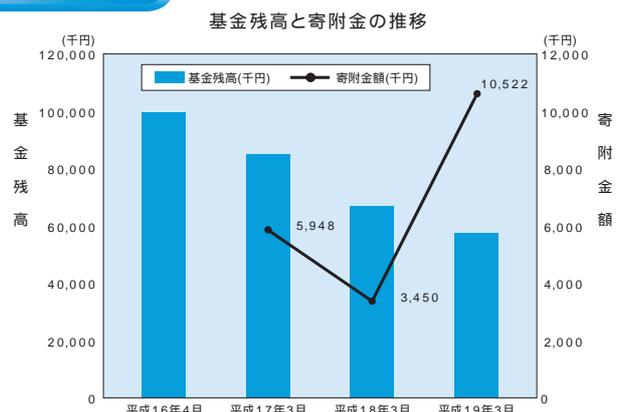


## これまでの事業実績

		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
NPO基金事業費の合計		19,648千円		21,298千円		20,700千円	
内 訳	NPO活動促進助成事業	9,728千円	27件	11,736千円	31件	11,628千円	32件
	NPO協働提案推進事業	3,995千円	1件	5,667千円	2件	5,176千円	2件
	NPO運営力強化・育成支援事業	5,925千円	1件	3,895千円	1件	3,896千円	1件

## 基金の現況・寄附金の推移

- 基金残高（平成19年3月31日現在）  
58,504,267円
- 平成18年度の寄附金（平成19年3月31日現在）  
10,521,241円

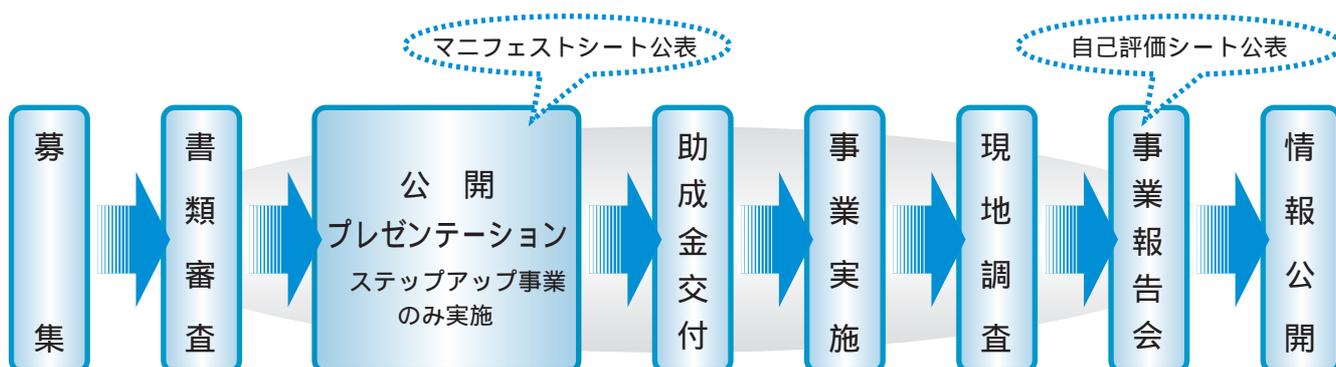


# NPO活動促進助成事業

## 事業内容

助成区分	スタートダッシュ事業	ステップアップ事業
助成対象	NPO法人が特定非営利活動に係る事業を開始するための経費	NPO活動を本格的に展開するために新たに実施する事業の経費
助成対象者	NPO法人設立認証中の団体 認証後6ヶ月以内のNPO法人	法人設立登記完了後3年以内のNPO法人
助成限度額	上限30万円	上限100万円(事業費の4/5を限度)
18年度実績	計 23件(応募 79件) 計 5,849千円	計 9件(応募 33件) 計 5,779千円

## 事業の流れ



## 分野枠について

埼玉県 NPO 基金への寄附のうち、分野希望寄附金が一定額(平成18年度は50万円)以上集まった分野については、ステップアップ事業の「分野枠」として、その分野の活動を行う団体に助成します。

平成18年度は、「保健・医療・福祉」「環境保全」「農業」の分野枠を設け、3団体に助成しました。

## 19年度の事業

これまでの助成事業を再編し、次の2つの助成区分により実施します。

助成区分	チャレンジサポート事業	みんなでサポート事業
助成対象	NPO活動を本格的に展開するために新たに実施する事業の経費	登録団体(NPO法人・一部の任意団体)が主に県内において実施する、定款に規定された事業の経費
助成対象者	法人設立登記完了後3年以内のNPO法人	登録団体のうち、当該団体を希望する寄附金があった団体
助成限度額	上限100万円(事業費の2/3を限度)	上限1,000万円(1年間)
備考	分野枠あり(「保健・医療・福祉」「環境保全」「農業」を予定)	団体希望寄附金を原資として実施

次頁からは、平成18年度に助成を受けて実施した事業や法人の活動内容について紹介します。

# Step Up ステップアップ

## パンの店頭販売による地域交流と チャレンジ社会体験

分野  
保健医療  
福祉

(特) 障害者自立センター・めだか

草加市

「障害のある人もない人も共に地域で社会の当然の一員として生きていける社会を目指す」ことが私たちの目標です。施設内での作業や活動に留まっていたならば、自立生活に向けた体験、ましてや就労もおぼつきません。いつかは親を離れてどのように生活していくか問われることとなります。現在、パンの製作・配達販売を中心に行なっていますが、助成金で、以下の事業を行ないました。

パンの店頭販売による地域の人達との交流事業

施設は、東武伊勢崎線草加駅と松原団地駅のほぼ中間で、人通りも多いことから、パンの店頭販売にも適しています。看板やテーブル、レジスターなどを購入し、スタートしました。おいしいと評判で、地域の人たちとの新しい交

流も生まれてきました。

チャレンジ社会体験事業

18歳～30歳未満の通所者が半数を占めるので、この年頃に様々な経験を積むことはこれからの人生にとって有益といえます。同年輩のボランティアを募り、動物園や水族館、博物館など5箇所、他のパン工房1箇所を視察しました。交通機関やお金の使い方学び、社会に対する積極性が出てきたように思います。(交付額：201千円)



パンを製作する様子

## 埼玉県における菜の花エコプロジェクト ネットワークづくり

分野  
環境保全

(特) NPO菜の花エコプロジェクト埼玉

坂戸市

私たちは、今回幸運にも2回目の埼玉県NPO活動促進助成事業の助成金を受けることができました。遊休農地での菜の花栽培、お花見、ナタネ収穫。搾油後、美味しい油を食べ、その廃食油を環境に良い石けんや、バイオディーゼル燃料にリサイクルする、資源循環・まちづくり活動を県内全域に広めるための、「菜の花プロジェクトネッ



菜の花の資源循環サイクル

トワーク」づくりを提案しました。ネットワークの立ち上げイベントとして、平成18年12月9日に、菜の花ネットワーク代表の藤井絢子氏の講演会を開催。講演会では遊休農地、里地・里山の問題、地域の未利用資源の掘り起こし、再生可能なエネルギーの地域自給など、農業と環境問題が一体になった菜の花プロジェクトの可能性を実感し、ネットワークの必要性を再認識しました。「埼玉県菜の花エコネット」を立ち上げ、菜の花を中心とした様々な活動の情報交換、情報の共有・発信を目的に、8行政区の3団体16個人の参加でスタート。今後は多様な分野の人とつながることで、地域が元気になることを期待。皆さん菜の花で楽しくつながりましょう。広がり!菜の花!(交付額:399千円)

## 仲間の夢 ブルーベリー農園スタート

分野  
農業

(特) ぶどうの樹

日高市

「ぶどうの樹」では、障がい者とその親とで社会参加するためのサークル「遊\*遊」で19家族が活動しています。また、障がい者の養護学校卒業生の進路として運営している心身障がい者地域ケア「デイケアぶどう」では、9名の利用者が、リサイクル品と手作り品販売の店と喫茶工房の2店舗で働いています。「デイケアぶどう」には新たな利用者を受け入れるスペースの余裕はないため、ブルーベリー農園の開設を計画しました。

地域の心ある人のご好意により、土地付建物を購入することができ、休耕田を1800坪お借りできました。

そして、今回のステップアップ事業により、農園の中心となるブルーベリーの苗を購入しました。ブルーベリーの苗を

植えて育てることにより、その成長、実り、収穫、と目に見えますし、毎年たくさんの実をつける喜びを実感出来ます。また、販売等を通じて自立のためになり、地域の人々との交流もできます。最初はブルーベリー中心ですが、将来はラズベリー、ブラックベリーを作り観光農園を目指しています。(交付額:1,000千円)



みんなでブルーベリーの苗を植える

## 元気な山里づくりで元気な市民交流

私たちは関東平野の西端に位置する標高平均4百メートルの山里、ときがわ町大野地区を活動の拠点に、都市と山村の交流で、高齢化と過疎化が進む地域の活性化と参加市民の元気回復を図ろうと多様な事業を実施しています。

主な事業は、

祖先が丹精込めて耕してきた遊休農地を再生して、無農薬有機栽培の野菜づくりやソバ、キビ等の雑穀類の栽培。竹林の間伐整備と伝統の土窯で竹炭・竹酢液づくり。

「ソバ打ち」「コンニャクづくり」等伝統食講習会や「山菜を食べる」「いも煮会」等を通して地域との交流推進。伝承文化の聞き取り調査や地域の祭り支援活動。

その他間伐材でログハウス作りや源流探索等のフィールド学習等を実施しています。

### (特)ときがわ山里文化研究所

比企郡ときがわ町

各事業の指導者はいずれも地域の皆さんで、毎回和やかな交流が行われています。

今回の助成で地域指導者の発掘、活動拠点の整備や各事業に使用する基本用具類等が整備され、今後の活動の基盤が整いました。今後も地域と緊密な連携で豊かな山

文化を学び、多彩な「田舎暮らし体験」

事業を展開して山里の温かな心を都会に呼び戻す活動を行っていきます。

(交付額:640千円)



竹林の間伐整備の様子

## ～ふかや文化と交流の場づくり～ 「旧七ツ梅フェスティバル」

これまでの経緯 - 深谷は中仙道宿場町として発展しました。江戸中期に創業した旧七ツ梅酒造は数年前に廃業となり、主な建物は腐朽が進みました。そこには江戸末期の酒蔵、大正初期のレンガ蔵、昭和初期の店蔵など、時代を反映した建物群があります。

保存と活用について- これらの歴史的建物の保存・活用をテーマに建物調査、その魅力を探るワークショップ。それを受けて活用提案。最後に、み



歴史的建造物と現代アートの融合

### (特)住まいとまち創り集団木犀

深谷市

んなで考えるまちづくりをめざした催しを行ないました。

「旧七ツ梅フェスティバル」-メインは伝統的建物での現代アート展の演出です。来場者に魅力的な場を提供でき、子供も楽しめるワークショップも企画しました。期間中の建築家による蔵巡りも好評でした。各団体のイベント、企業から個人までの出店は、期間中は来場者が絶えることなく、土・日には大変な賑わいでした。各新聞・TVによる報道もあり、来場者は予想を超え、県民にアピールすることが出来ました。

遺産から活用に - 『どんな“遺産”でも決して“負の遺産”などない…。』この歴史的建物群をどのように保存・活用が出来るか、これからも多くの人達と話し合う必要があると感じました。(交付額:771千円)

## 行田の「足袋蔵めぐり」からのまちおこし

NPO法人「ぎょうだ足袋蔵ネットワーク」は、行田市内に数多く残る足袋産業関連の近代化遺産を保存・活用してまちづくりに役立てようと活動しています。

今回、近代化遺産の文化財登録をすすめ、15ヶ所の近代化遺産に説明掲示板を設置したほか、「足袋蔵のまち行田」をアピールするための、PRポスター・パンフレットや「蔵めぐりガイド」を作成しました。

また、「足袋蔵めぐりモデルコース」を設定して、「足袋蔵再発見の旅」などの蔵めぐりを3回実施しましたが、いずれも大変好評を博し、観光ルート開設の展望も開けました。

さらに、8棟の近代化遺産については、その再活用を具体的にプランニングし、発表することでまちの活性化を提

### (特)ぎょうだ足袋蔵ネットワーク

行田市

案したいと考え、「蔵開きモデルプラン発表会」を開催し、大きな反響がありました。

最後に、これらの事業の成果をまとめて、「蔵めぐりからまちおこし」事業報告書を刊行・配布しましたが、いずれ

の事業も反響が大きく、新たな展開も見え始めたので、今後も事業をさらに継続・発展させたいと思います。(交付

額:1,000千円)



「蔵開きモデルプラン発表会」の様子

## 「第1回手打ちそばアカデミー in さいたま」の開催

「そばネット埼玉」は、手打ちそば愛好団体(家)が緊密な連携を図り、手打ちそばの正しい知識・技術を伝承していくことにより、日本の伝統食文化でもある“手打ちそば”の健全なる普及・発展を目指し、もって、食文化全体の向上を目指すために設立しました。

今回第1回として開催した「手打ちそばアカデミー in さいたま」では、第1部として、2月3日に小学生の親子を対象にした「親子そば打ち体験教室」を、第2部として2月18日に、講義を実施しました。

講義1は、上野藪そば3代目当主で(社)日本麺類業団体連合会会長の鶴飼良平氏に「手打ちそばブームとアマチュアそば打ち家」と題して、アマチュアそば打ち家への賛辞と警鐘をお話いただきました。

## (特) そばネット埼玉

さいたま市南区

講義2は、食文化史研究家で西武文理大学客員教授の永山久夫氏に「そばは100歳食」と題して、そばの栄養学から麺汁、薬味などの効用等についてお話いただきました。

講義3は「そば打ち技術交流会」で、会場に麺打ち台6式をセットして、全麺協の段位認定審査員が、参加者から選ばれた12人のそば打ちを巡回指導しました。

会場は、定員100人を大幅上回る142人の参加者の熱気に溢れていました。(交付額:518千円)



そば打ち技術交流会

## 間伐材で炭作り～炭を使って水質浄化～

NPO法人名栗カヌー工房は、地域の木材資源西川材(杉・ヒノキ)を有効活用し、木製カヌーの製作指導をはじめ、エコツーリズムの推進や、人々が自然に親しみ自然を愛する心を養う“体と心の健康づくり”をサポートしています。

今回の事業では、間伐材を利用した炭を作るための炭焼き窯を製作することにしました。当カヌー工房周辺の森林に放置され、森林環境を悪化させ



子どもたちの炭焼き体験

## (特) 名栗カヌー工房

飯能市

ている間伐材の有効活用ができると考えたからです。加えて、炭が持つ水質浄化作用に着目し、最近水質汚染が懸念されている名栗川(入間川上流域)に炭を袋に入れて据え置くことで、浄化にも役立てられます。将来は、地域の方々や小・中学校の児童生徒と一緒に水質浄化に取り組み、その効果を数値的に実証する活動に発展させたいと考えています。

また、炭焼き体験をエコツアーの一環に組み込む企画も推進します。炭焼き体験を通して、その背景である森林の役割を知ってもらい、自然環境についてトータルで学んでもらえるよう力を尽くしたいと思います。

作った炭焼き窯は小さくても、助成金は大きく生かします。(交付額:319千円)

## 子どもがアートに出会う、あそび、体験ひろば事業

幼児から小・中学生までの子どもたちを対象に、さまざまなアーティストに会い、サーカス芸、タップダンス、パントマイム・・・などのプロの技を間近で観て、実際にやってみるという地域体験教室(草加八潮市内5ヶ所)を行いました。

また、これらの体験を一日に集め、子どもたち自身が教えたり、ステージで発表したりできる体験ひろばを行いました。最初はどんなことをするのか不安だったようですが、挑戦し出来たよるこび、参加者同士見せあって認めあえたことで、自信をもっているいろいろなことに挑戦していく力を身につけてもらえたような気がします。

3才以下の未就園児の親子には、はじめてのおしばいの鑑賞と、あそびのひろばを行いました。

## (特) 子ども広場草加おやこ劇場

草加市

いずれも与えるだけでなく、子どもたちの表現を受けとめられるような空間作りを大切にしていきました。親子で一緒に過ごす時間は短いものです。大人も楽しみながら、ゆったりと向き合ってもらいたいと思います。これからも私たちは子どもたちの文化体験を維持していくために、鑑賞活動事業を中心に、地元で子育てを楽しめるような活動を、継続しておこなっていきたく考えています。

(交付額:1,000千円)



「あそびのひろば」の様子

## (特) 楽 育

さいたま市浦和区

平成 18 年 2 月、制度的な入所要件は十分に満たしている数名の新小学 3 年生が公立学童入所落選の通知を受けました。原因は応募児童数の急増でした。我が子に安全で安心な放課後を確保したいと考える働く親たち数名が集まり、平成 18 年夏、学童保育所運営のための NPO 法人楽育(らくいく)を設立しました。

急な事態で資金はほとんどない状態でしたが、幸い、さいたま市の理解と協力を得られ運営面での費用が確保できました。また、県のスタートダッシュ事業のおかげで、法人事務所兼学童保育所用として借りた事務所に木の床を張

ることができ、学校から帰ってきた子ども達が靴を脱いで過ごせる居心地のよい空間を整えることができました。

「ただいま～、先生、今日のおやつなに～？」今日も、玄関で靴を脱ぎ、ランドセルをおろしながら子どもたちは楽育の木の床の上で、のびのびと過ごしています。  
( 交付額 : 300 千円 )



木の床で過ごす子どもたち

## (特) 空の家をつくる会

さいたま市北区

当会は、地域材を使って、職人の手仕事にこだわる家づくりを広めるため設計士、工務店などが集まった集団です。無垢材や自然素材のすばら



新潟県朝日村視察団と打合せ

しさを知って頂くため、定例のセミナーや現場の見学会などを開催しております。『家』は買わないでください。人が中心の『住まい』こそつくって頂きたい。それが我々の願いです。

今回の助成金は、私たちの考え方や存在をより広く知ってもらう為、リーフレットの作成などに使わせていただきました。そしてその効果が問合せや参加者の増加として活動の輪を更に大きく広げております。また、活動の実際を視察したいとお話も頂き、埼玉県外からの研修視察を何件か受入れ、意見交換もいたしました。我々の目指す家づくりが、県内はもとより全国的な潮流となることを願っております。

<http://www11.plala.or.jp/mokunoie/> ( 交付額 : 300 千円 )

## (特) 川口市民環境会議

川 口 市

ここ数年、世界各地で異常気象が続いています。地球温暖化は年々深刻になり、政府、産業界...そして私たち 1 人 1 人の行動が求められています。

この対策のベースには子ども達への環境教育があると考え、任意団体時から、市内の小中学校を中心に環境出前授業を実施してきましたが、今後、さらに各地域で担い手を増やしていく必要があると考え、助成金を受けて「環境出前授業研修会」を開催しました。各地域の皆様、授業プログラムづくり、子ども達への伝え方等について学ぶ場を提供する事ができました。

また購入したパソコンを使って、環境教育に関連する情報をホームページからも発信しました。今後、ホームページからの情報提供の充実、環境出前授業ノウハウ集の製作、学校

に対する環境教育のサポート体制も整備していきたいと考えています。さらに、2000 年から始め全国各地に広がっている「エコライフ DAY」等にも力を入れていきたいと考えています。  
( 交付額 : 300 千円 )



環境出前授業のための研修会

## (特)さいたまマック

さいたま市見沼区

さいたまマックの目的の一つに、「苦しんでいるアルコール依存症(以下「依存症」と略す)者やその家族等に回復の希望のメッセージをとどける」ということがあります。

まだまだ世間では、依存症は治らな



講演会の様子

い思われているようですが、マック卒業生に会って頂ければ「回復」や「成長」が信じられるようになると思います。会員の中には、長年、精神保健福祉士として働いた者もいて、その経験から、依存症者はドラマティックな回復があると確信を持っています。病院で、援助者と患者という関係であった依存症者と、今は同じ目的を持った仲間として、さいたまマックで一緒に働いています。

今回の助成金で、回復者と出会える講演会を2回開催することができました。さらに、リーフレットとホームページを作成することが出来ました。

これからも、「回復の希望のメッセージ」を発信し続けたいと思っています。(交付額：286千円)

## (特)北本雑木林の会

北本市

北本雑木林の会は北本市街地の雑木林の保全・創出に係る事業を市民、行政と協働で行うことによって、緑のまちづくりの促進のための活動を展開しています。

主な内容は、市街地に残る雑木林の下草刈り・清掃等の環境整備事業、中学生雑木林保全ボランティア教室等の青少年健全育成事業、指定管理者として「北本中央緑地」の保全に当たる公共施設管理・運営事業、雑木林コンサート・親しむ集い等のふれあい交流事業などです。

今回の助成金により、NPO 設立記念特別講演会を開催し、会報 NPO 法人設立記念号を発行することができました。

これにより、会の活動は NPO 法人としてスタートダッシュいたしましたので、今後はこの勢いを加速させ、より一層の充実を期したいと思います。(交付額：279千円)



中学生のためのボランティア教室

## (特)ハーモニー

鴻巣市

ハーモニーは、平成 15 年から活動を始め、18 年 3 月に「特定非営利活動法人ハーモニー」として認証され、4 月から、障がい者の日中活動を支援するために「デイケアハーモニー」を運営しています。大



ハーモニーまつりの様子

家さんのご好意により、比較的広い庭と建物をお借りしましたが、築年数が古く、使いづらい箇所がありました。

この度、助成金により、作業場のエアコン設置と庭の整備ができました。庭は、園芸学校の生徒さんたちがボランティアで関わってくださり、使いやすい素敵な庭が出来上がりました。この庭で、10月28日に「ハーモニーまつり」を行い、たくさんの方に来ていただき、地域交流を楽しむことができました。

障がいを持っていても、地域の中でその人らしく暮らしていけるように、これからも日中活動の場・生活の場(ケアホームなど)・就労の場を作るために努力していききたいと思います。(交付額：200千円)

## (特)埼玉老後安心センター

上尾市

埼玉老後安心センターは、高齢者や障がいのある人々に対して、成年後見制度の啓発事業をメインに、他の専門家との提携による幅広い生活相談、生活支援を行うことなどを目的として活動しています。平成 15 年から、埼玉県行政書士会上尾支部の会員有志を中心とした任意団体として活動してきましたが、組織化された恒常的に相談できる拠点として、平成 18 年 4 月に法人化しました。

成年後見制度の認知度が極めて低い現状において、制度の PR やこの制度の啓発を基本とした当センターの活動 PR

は大きな課題でしたが、助成金により、PR 効果の高いポスターやパンフレットをつくることができました。

今後は、自治体、福祉関係機関、福祉関係施設その他の関係者に対して PR 活動を積極的に行い、成年後見制度の利用相談や受託業務を行うとともに、他の専門家との提携による高齢者等に対する生活相談のワンストップサービスを目指して活動を展開していきたいと考えています。(交付額：300千円)



成年後見無料相談会にて

## (特) さやま保育サポートの会

狭山市

当会は、子育て中の親の孤立感を受けとめ、「お互いに支えあう場」を提供し、次世代育成の視点から広汎な地域子育て支援・子育て支援の場を設けること、又、働く親をもつ低年齢児などを対象に、家庭的で温かい保育を提供できる保育サポーターの養成に努めること、人間性豊かに成長できる地域社会を創造し、地域福祉の増進に寄与することをめざしています。

主な活動は、保育室「よつばのおうち」を拠点にして、現制度ではこぼれがちな緊急的一時保育や早朝・夜間の保育、

病後児保育、月極保育を行っています。また、年2回キャリアアップ保育講座、保育ボランティア養成講座を、月2回よつばのおうちひろば活動を開催してきました。

この度、助成金をいただき、上記の活動に弾みがついた上に、パソコン・ファックス電話機・園児食卓兼万能テーブルが購入でき、作業を円滑に進めることができました。(交付額:300千円)



保育講座の様子

## (特) くるみの木

坂戸市

NPO法人くるみの木は、障がいのある方や高齢者、児童、女性など社会的な弱者が、地域の中で人間らしいあたりまえの生活ができるように



ふれあいコンサート

支援することを目的に、2006年4月に設立しました。

主な活動は、福祉ショップくるみの木における授産施設で作った製品の販売と喫茶店、ギャラリー展示、東松山市の手打ちうどんの店むぎやにおけるうどん打ちと販売です。今回の助成金は、福祉ショップくるみの木の陳列棚やピクチャーレールなど店の備品と、のぼり旗、パソコンやプリンターなどを購入させていただきました。

店の陳列スペースも増え、授産施設の製品もより多く販売できるようになり、利用者も増えました。また、ギャラリー展示を通じて、ふれあいコンサートへの演奏家の出演が決まるなど、相互交流も予想以上に進展しました。(交付額:300千円)

## (特) GID media

東松山市

GIDmediaは、性同一性障害(ある個人の精神的性別と身体的性別が一致しない状態。GIDとも言われます)を抱える人々が安心して生活できる社会づくりを目指しています。現在の主な目的は、「教育従事者や教員免許取得予定者への啓発活動」と「当事者間および当事者と非当事者の交流のサポート」の2点です。

2007年2月24日には、助成金により、特別講演会を開催

しました。内容はGID当事者3名による講演(第1部)と討論会(第2部)でしたが、当事者だけでなく、友人やパートナーの方の参加もあり、非常に充実した会になったと思います。

今後は講演会・勉強会の開催に一層力を入れていきたいと考えています。2007年度は、都内私立大学と専門学校で講演予定ですが、教育従事者への講演会・勉強会の計画も進んでおり、県内の中学校・高校へパンフレット等を郵送する予定です。

<http://gidmedia.org/> (交付額:300千円)

### スタートダッシュ事業(後期)助成団体一覧

団体名	事務所所在地	主な活動目的・内容
(特) 航空復元懇話会	さいたま市南区	所沢航空記念館の九一式戦闘機の学術的調査と復元
(特) 織の音アート・福祉協会	さいたま市大宮区	手織りを通じた障害者の社会参加
(特) きっずくらぶ・エンゼル	鴻巣市	鴻巣地域の乳幼児とその保護者の子育て力の向上
(特) らぶ・あいず	川越市	視聴覚障害者のサポートと福祉の増進
(特) ストロベリーハート	川越市	知的障害者(児)の音楽活動を通じた福祉の増進
(特) 志木子育てネットワークひろがる輪	志木市	子育てのための地域コミュニティやネットワークづくり
(特) サポートハウスみんなのて	富士見市	障害者やその家族への生活支援
(特) ひろば・せんちゃま	草加市	誰もが生き生き暮らせる地域を目指した多角的な家族支援
(特) 障害者による障害者の自立支援センター湧くわく探検隊	栗橋町	栗橋町周辺の障害者への情報提供と福祉の増進
(特) チューリップ	羽生市	北埼玉地区の障害者の福祉の増進
(特) いきがいネット熊谷	熊谷市	熊谷地域の高齢者のふれあいと生きがいづくり
(特) 秩父市身体障害者福祉会ハート秩父	秩父市	秩父地域の障害者や高齢者の福祉の増進
(特) 長瀬町桜と松等を守る会	長瀬町	長瀬町の桜や松の管理・保護・造成

# NPO 協働提案推進事業

## 事業内容

### 対象となる事業

NPO と県が協働して行う事業としてふさわしいもの

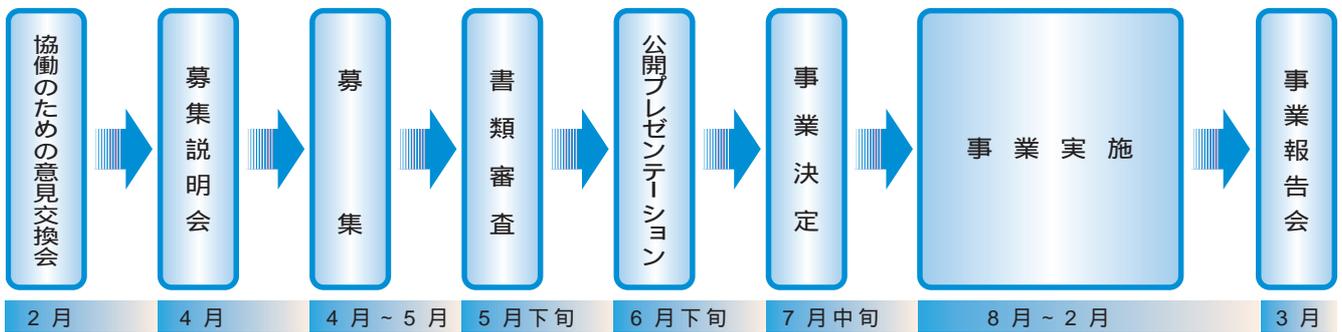
### 応募資格

県内に事務所を有し、県内を中心に活動している特定非営利活動法人、市民活動団体、ボランティア団体

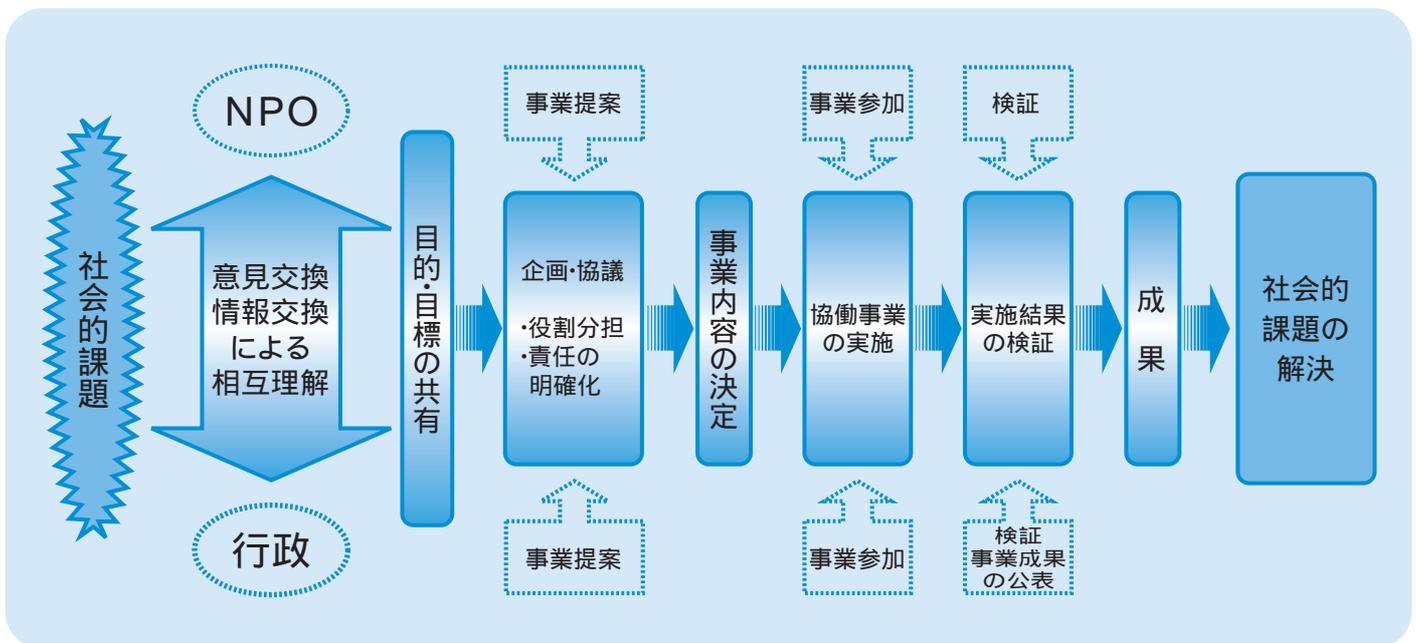
### 事業費

1件当たり 300 万円を上限（総額 600 万円の範囲内で、複数の事業を実施）

## 事業の流れ



## NPOと行政の協働の流れ



## 19年度事業

事業費を1件当たり150万円を上限とし、4件程度の事業実施を予定しています。

## 協働提案 1【自由な提案】

### 綾瀬川流域総ぐるみの生活排水改善意識改革

(特) 東京湾と荒川・利根川・多摩川  
を結ぶ水フォーラム(戸田市)

県担当課 環境部水環境課

#### 1 団体の活動紹介

私たちは、東京湾と荒川・利根川・多摩川の水循環と河川環境を学び、その保全を目的に、市民団体と日常的に連携・実践交流をすすめ、市民と行政・企業の連携のあり方を検討しています。主な活動は、毎年9月、大宮ソニックシティにて「水フォーラム」の開催、武蔵水路と利根大堰の将来像の研究、荒川を国立公園並の環境管理へ推進、綾瀬川の全国ワースト1からの脱却、などです。

#### 2 事業概要

汚濁河川として全国的にも有名な綾瀬川の水質改善を行うため、県では「綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦」という、住民、河川浄化団体、企業、行政の総ぐるみの取り組みを展開しています。今回の事業は、「綾瀬川流域総ぐるみの生活排水改善意識改革」と題し、感動的な映画「ほたるの星」を中心とした環境講座「川をきれいにする市民のつどい」を流域4会場(さいたま、川口、草加、越谷)で約1,500名に対し実施、小中学校での授業としての環境学習を30校、児童・生徒数延

べ3,300名に対し実施しました。

主な取り組みとしては、家庭でできる生活排水対策についてのチェック項目を記載した「川を汚さないために!」チェックシートを必ず配布し、学校では親との宿題として実施するなど、対策を強く呼びかけました。

今回の成果をもとに、今後もワーストからの脱却を目指して、継続した市民活動を推進します。

(委託料:2,873千円)



川をきれいにする市民のつどい

## 協働提案 2【テーマ提案】

### 彩の国コミュニティシネマ普及・促進

(特) 市民シアター・エフ(深谷市)

県担当課 産業労働部新産業育成課

#### 1 団体の活動紹介

NPO法人市民シアター・エフは、「映画文化の振興とまちづくり」を目的に平成12年4月に設立しました。平成14年7月に深谷タウン・マネジメント組織による事業の一環として「空き店舗」(旧銀行)を活用した街の映画館『深谷シネマ』(50席)がオープンし、その運営を行っています。

開設から5年が経ち、今では1日平均100人1ヶ月



秩父の映画文化を語る集い

3,000人の方がお見えになり、市民の憩いの場として喜ばれております。

#### 2 事業概要

今回の事業は、現在、当法人と連携して地域上映を進めている、羽生市と秩父市の2つの地域において、開催のノウハウや上映団体の育成とネットワークづくりを行うことを目的として実施しました。

羽生市「市民プラザ」にて映画『カーテンコール』上映と佐々部清監督のトークを行い、そのあと監督と関係者によるシンポジウム「街なかの映画館を考える」を行いました。

秩父市のミュージックパーク・音楽堂にて映画『愛と死をみつめて』上映と秩父出身の齋藤武市監督のトーク、シンポジウム「秩父の映画文化を語る」を開催しました。商店街にある元映画館を改装しての「街の映画館」作りの提案もありました。

さいたま市の芸術劇場映像ホールにて中国映画『ココシリ』上映と上映講座を行い、県内の14の自主上映団体が集まり、活動交流が図られ大きな前進がありました。(委託料:2,304千円)

# NPO運営力強化・育成支援事業

この事業は、NPO が継続的、安定的に組織を運営していくために必要な税務・会計、人事、労務などの事務処理能力や運営マネジメント能力の向上を図り、NPO の組織運営基盤の強化を目指すものです。

埼玉県認証のNPO 法人、埼玉県に法人設立認証申請中の団体及び申請を希望している団体等を対象に実施しました。

## 事業内容

### 1 税務・会計相談

事業内容・方法	NPO 法人の税務・会計処理方法等について、税理士等の専門家が個別面談により対応		
回数・相談件数	25 回実施	相談件数 92 件	県内各地で実施
主な相談内容	NPO の会計全般、事業費と管理費、収益事業の会計処理、NPO の税金、会計ソフトの利用、役員報酬についてなど		

### 2 マネジメントセミナー（全 8 回・のべ 429 人受講）

日時・場所	テーマ	講師
9 月 30 日 10:00 ~ 17:00 埼玉会館	NPO 法人のマネジメント	齋藤克子（彩の国いきがい大学講師・大東文化大学経済学部講師） 宇津木法男（（特）NPO 事業サポートセンター専務理事）
10 月 14 日 10:00 ~ 17:00 NPO オフィスプラザ	NPO 法人の会計	河崎陽子（（特）資産相談センター理事長・税理士）
10 月 21 日 10:00 ~ 17:00 埼玉会館	NPO 法人の税金	河崎陽子（（特）資産相談センター理事長・税理士）
11 月 14 日 10:00 ~ 16:00 NPO オフィスプラザ	NPO の広報戦略と IT 化戦略	渡辺明洋（（特）彩 SITA 副代表理事）
11 月 23 日 10:00 ~ 17:00 埼玉会館	NPO 法人の人事労務マネジメントと社会保険の手続	笹内歩（（特）資産相談センター理事・社会保険労務士）
12 月 9 日 10:00 ~ 17:00 埼玉会館	NPO 法人の変更登記・各種届出 NPO の個人情報保護法への対応 NPO のリスクマネジメント NPO の助成金の活用について	大河内俊幸（司法書士） 杉山春雄（司法書士・個人情報保護士） 榎本三千雄（（株）イー・ケア・サポート代表取締役） 武藤定明（（特）子ども文化ステーション専務理事）
2 月 3 日 10:30 ~ 17:00 かわぐち市民パートナー ステーション	NPO のリーダー論～成功する NPO の運営戦略～	田中尚輝（地域創造ネットワーク・ジャパン専務理事・（特）市民 福祉団体全国協議会事務局長）
2 月 17 日 10:30 ~ 17:00 かわぐち市民パートナー ステーション	NPO の企業との協働・事業拡大 について	宇津木法男（（特）NPO 事業サポートセンター専務理事） 長谷川佳和（（特）ケアマネージメントサポートセンター理事長） 和田喜美（（特）子育てネット・森の妖精たち理事長） 横路美喜緒（（特）埼玉森林サポータークラブ会長）

この事業は「企画提案方式」により公募を行い、応募のあった 3 団体のうち、特定非営利活動法人資産相談センターに委託して実施しました。（3,896 千円）

### NPO マネジメントセミナー・税務会計相談をふりかえって

特定非営利活動法人 資産相談センター

相談会では、税理士による「税務・会計」とともに、社会保険労務士による「人事労務」のご相談も実施し、数多くのご参加をいただきました。マネジメントセミナーでは、様々な分野の専門家により、プロジェクターを活用しインターネット画面をご覧いただいたり、ワークショップでは、実際に所轄庁へ提出する書類等を作成したりと、盛りだくさんの内容でした。

「NPO 法人の更なる発展を目指すには、活動している一人一人の意識の転換が不可欠であり、事業性を確立することが大切だ」という講師の話は、「勇気がわいた」「自分の意識の甘さを痛感した」と、自らの組織を再認識し、活動を継続していく上での意識改革の機会にもなったようです。セミナー受講者はリピーターも多く、長時間の講義にも拘わらず熱心に受講され、実務に即した内容に「具体的な説明でわかりやすい」「来年もぜひこの事業を継続してほしい」と大変好評でした。さらに数回、交流会も開催しましたが、NPO 法人同士の情報交換として、設立間もない NPO 法人には、よい学びの場となったようです。

NPO による市民活動が、さらに市民に広がり発展するには、このような NPO の支援事業を欠かすことができないと実感しております。

### 19 年度事業

税務・会計相談を 30 回、マネジメントセミナーを 9 回実施する予定です。



# NPO 基金にご寄附いただいた皆様をご紹介します。

平成 19 年 3 月 31 日現在（寄附日順）

## 団 体

株式会社フジナミ 様  
 国際ロータリー第 2570 地区 様  
 医療法人社団大渡歯科 様  
 大宮北東ロータリークラブ 様  
 (特)フリーマーケット主催団体  
 協議会 様  
 トキタ種苗株式会社 様  
 株式会社小澤建設 様  
 キリンビール株式会社 様  
 社団法人埼玉県看護協会 様  
 株式会社ユーディーサービス 様  
 株式会社ユーディー 様  
 (特)ゆずりはの会 様  
 株式会社マスセイ 様  
 共同印刷株式会社越谷工場 様  
 ワタキューセイモア株式会社  
 東京支店 様  
 株式会社丸善埼玉工場 様  
 社団法人埼玉県歯科医師会 様  
 医療法人秀峰会 様  
 株式会社佐々商店 様  
 中央圧延株式会社 様  
 篠田ゴム工業株式会社 様  
 五葉建材株式会社 様  
 シン建工業株式会社 様  
 越谷コミュニティプラザ株式会社 様  
 株式会社深谷上柴ショッピング  
 センター 様  
 田中産業株式会社 様

社団法人埼玉県医師会 様  
 初雁興業株式会社 様  
 三星化学工業株式会社 様  
 岩堀建設工業株式会社 様  
 モリヤ株式会社 様  
 センチュリーシティ大宮公園  
 リビングサービス部 様  
 びっくりドンキー越谷店 様  
 株式会社埼玉工業所 様  
 関口妇科医院 様  
 五光鍍金工業有限会社 様  
 べんてる株式会社草加工場 様  
 浦和北東ロータリークラブ 様  
 埼玉配電工事株式会社 様  
 川口中央ロータリークラブ 様  
 株式会社ダイコウ 様  
 株式会社トクホウ 様  
 社団法人埼玉県環境検査研究協会 様  
 徳竹塗装株式会社 様

有限会社二木屋 様  
 石川金属機工株式会社 様  
 有限会社上原メッキ工業 様  
 東京ガス株式会社埼玉支店 様  
 社団法人全日本不動産協会  
 埼玉県本部 様  
 有限会社岩宗鋳造所 様  
 医療法人社団 群羊会 様  
 三愛プラント工業株式会社 様  
 行田足袋商工協同組合 様  
 勝田化工株式会社 様  
 株式会社如月書房 様  
 デイジイ 様  
 コーエー・エコビジネス株式会社 様  
 株式会社日環サービス 様  
 矢島鋳工株式会社 様  
 株式会社八廣園 様  
 株式会社ベネッセコーポレー  
 ション 様

## 個 人

石原 猛男 様  
 松尾つや子 様  
 今成 定弘 様  
 山根 明 様  
 本多 均 様  
 内部 正明 様  
 浅羽 理恵 様  
 佐藤 浩 様  
 南木 武輝 様  
 三野 正洋 様  
 松原 英治 様  
 檜原 伸子 様  
 牛山 泉 様  
 山下 進 様  
 他匿名希望の方 5 名  
 ありがとうございました。

## 寄附金の状況

		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	寄附金累計
寄 附 金		5,948,063	3,449,629	10,521,241	19,918,933
内 訳	一 般 寄 附	2,958,063	2,380,966	3,145,846	8,484,875
	分野希望寄附	2,990,000	1,068,663	1,001,000	5,059,663
	団体希望寄附			6,374,395	6,374,395
寄 附 件 数		26 件	32 件	91 件	

## 寄附者の声

埼玉県 NPO 基金にご寄附をいただいた方に、  
 基金に寄せるお気持ちをお聞かせいただきました。

### キリンビール株式会社 様

キリンビール(株)埼玉統括支社は、埼玉県 NPO 基金が創設された平成 16 年より、毎年 6 月頃に開催します埼玉県内各界のオピニオンリーダーにご参加いただくイベント「彩の国ピアフェスタ」の場で、NPO 基金への基金の贈呈を行ってまいりました。

「埼玉県を NPO 活動で有数の県に」という上田知事のお考えに賛同し、NPO の幅広い活動への基金を通じての支援により地元埼玉を応援したいとの考えで、行ってきたものです。

平成 19 年も「彩の国ピアフェスタ」の場においての基金の贈呈により、埼玉県の NPO 活動の発展に貢献したいと考えております。

### トキタ種苗株式会社 様 (時田 勉 会長)

私ども県民の自発的な社会貢献活動(ボランティア活動)が、より良い地域社会づくりにとても有効ときいています。私自身は、大学同窓会で、県の「花と緑の埼玉づくり」に協力していますが、所属する企業として NPO 活動を活発にするためにお役に立つよう、2 年に亘り基金に寄附をいたしました。

このたび活動団体を希望して寄附することができるようになったことは、とてもよろこばしいことです。

ちなみに私は、平成 18 年 12 月 20 日に「埼玉県愛瓢会」の名で、特定非営利活動法人の埼玉県認証を受け、活発な活動を展開せんと心積りしているところです。

# 皆様からの寄附をお願いします

寄附を通じて社会貢献しませんか？

## 埼玉県 NPO 基金への寄附の方法

3つの方法から、お選びいただけます。

・具体的に支援したい団体が決まっている

・活動内容に共感できる団体を支援したい

団体希望寄附

基金登録団体から希望できます

・興味のある活動分野がある

・一定の活動分野の団体を支援したい

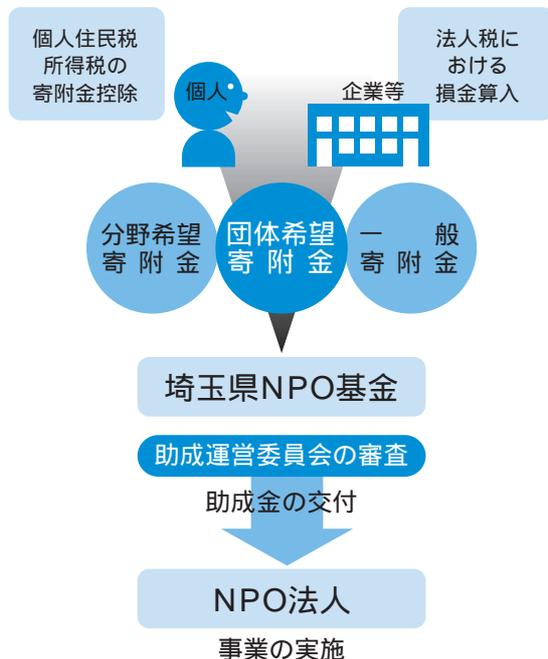
分野希望寄附

17の分野などから希望できます

・特定の団体や活動分野ではなく、NPOを広く支援したい

一般寄附

## 団体希望寄附金制度の仕組み



団体希望寄附金の一部は、NPO活動の推進のための事業に活用させていただきます。

## 税法上の優遇措置があります

### 【個人の場合】

所得税：寄附金額か所得の合計額の40%のどちらか低い方の金額から5千円を差し引いた金額が控除されます。[所得税法第78条]

個人住民税：寄附金額か所得の合計額の25%のどちらか低い方の金額から10万円を差し引いた金額が控除されます。

[地方税法第34条及び第314条の2]

相続税：相続した財産を申告期限内に寄附した場合、その寄附した財産は、相続税の課税価格に算入されません(一定の要件があります)。

[租税特別措置法第70条]

### 【法人の場合】

寄附金額の全額を損金算入することができます。

[法人税法第37条]

## 感謝状・協力証を贈呈させていただきます

埼玉県NPO基金にご寄附いただいた額が、個人で10万円、団体で50万円以上になるときは、知事から感謝状を贈呈させていただきます。

また、1万円以上ご寄附いただいた方には、協力証を贈らせていただきます。(一部の団体希望寄附金を除きます。)

## NPO基金ステッカーを差し上げます

ご寄附をいただいた方には、埼玉県のマスコット“コバトン”がかわいい「埼玉県NPO基金ステッカー」を差し上げます。

## 基金への寄附の方法

お近くの金融機関(県内の銀行、信用金庫、信用組合、農業協同組合等)の窓口にて、所定の寄附申込書でお振り込みをいただけます。(手数料はかかりません。)

NPO活動推進課にご連絡いただけますと、寄附申込書(振込用紙)をお送りいたします。

## NPOに関するお問い合わせ先

埼玉県総務部 NPO 活動推進課 (NPO 活動全般の窓口) 〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL 048-830-2839 FAX 048-830-4751 Email a2835@pref.saitama.lg.jp

「埼玉県 NPO 情報ステーション」 <http://www.saitamaken-npo.net/> (県内の NPO 情報が検索できます)

彩の国市民活動サポートセンター (市民活動のための相談窓口) 〒362-0801 埼玉県伊奈町小針内宿 1600

TEL 048-728-7146 FAX 048-729-0318 <http://sai-saposen.on.arena.ne.jp/about.html> (県民活動総合センター内)